



平成21年度 大学コンソーシアムやまがた事業報告書

教育連携 教育連携部会担当

1 学生募集の共同化に関する事業

- (1) 大学等合同説明会の開催 宮城・福島・秋田県内の高校生・保護者対象
- ・仙台市：5／24（日） せんだいメディアテーク （参加者47名）
 - ・福島市：7／5（日） 福島テルサ （参加者16名）
 - ・秋田市：7／18（土）秋田文化会館 （参加者30名）
- (2) 出張「大学等合同説明会」の実施 高校に出向いての大学等合同説明会
- ・小国高校 対象学年 1～3年 7／22（水） 13:20～15:15
羽陽学園短大、東北芸術工科大、産技短大校山形校、産技短大校庄内校、保健医療大、山形大
 - ・新庄南高校 対象学年 1～2年 10／15（木） 13:20～15:10
羽陽学園短大、東北芸術工科大、東北公益文科大、農業大学校、保健医療大、山形大、山形短大
 - ・北村山高校 対象学年 2年 10／22（木） 13:30～15:10
羽陽学園短大、東北芸術工科大、保健医療大、山形大、山形短大
 - ・谷地高校 対象学年 1～2年 1／8（金） 13:20～15:25
羽陽学園短大、東北芸術工科大、東北公益文科大、保健医療大、山形大、山形短大
 - ・寒河江工業高校 対象学年 1～2年 3／18（木） 13:30～15:20
東北芸術工科大、産技短大校山形校、山形大

2 連携型教育の推進に関する事業

(1) 単位互換の推進

- ・ 2, 500科目開講
[利用者] 前期10名(東北芸術工科大3, 東北公益文科大1, 米沢女子短大2, 山形大3, 山形短大1) / 11科目
後期19名(東北芸術工科大15, 東北公益文科大3, 山形大1) / 24科目

① 最上川学プロジェクト推進委員会所管の「最上川の自然と文化」(前期・集中)、「最上川俯瞰講義」(後期)及びゆうキャンパスコーディネート科目「業界研究事始め」(後期)を単位互換科目として開講

- ・「最上川の自然と文化」(前期・集中) 15名 (山形大15)
- ・「最上川俯瞰講義」(後期) 31名 (山形大31)
- ・「業界研究事始め」(後期) 26名 (山形大26)
- ・講師：人事院東北事務局、山形市、エム・エス・アイ、荘内銀行、後藤電子、山形新聞、山形大学VBL、シベール、山形県、テクノモリオカ、山形県教育委員会、インターサーブ・ホスピタリティ開発事務所、山形県警察本部

② 資格課程科目も含めた単位互換の推進（新規）

- ・ 資格（教員、学芸員、司書）課程科目を単位互換とするための意向調査を7月に実施したが4大学及び3短大から回答があり、資格課程科目単位互換を推進する状況にはなかった。

③ 単位互換の広報

- ・ 単位互換関連ポスター・リーフレット等の作成。

④ 連携型科目の開発（新規）

- ・ 各大学等の科目を融合して大学間連携の新しい科目を開発し、単位互換を推進する。
- ・ 現在、5研究会において連携型科目開発が行われている。

(2) eラーニングの推進

- ・ 15科目開講

[利用者] 前期7名(山形大5、東北芸術工科大2) / 7科目

後期29名(山形大27、東北公益文科大2) / 8科目

① eラーニングの推進

- ・ 各大学等におけるeラーニング科目の開講を促進するために、eラーニング化実習の実施やeラーニング科目授業のアシスタントを支援する。(後期)

② eラーニング環境の整備

- ・ eラーニング科目開講のための機器等整備。

2機関：鶴岡工業高専、山形短大

(3) 教育連携部会の研修

未実施

(4) 先進地調査

- ・ 単位互換の推進及びeラーニングの推進等の利用促進に向けた先進地の調査

- ・ 調査先：①ネットワーク大学コンソーシアム岐阜

9 / 17 (木) (3名)

羽陽学園短大(1)、保健医療大(1)、山形大(1)

- ②いわて高等教育コンソーシアム

9 / 30 (水) (3名)

産技短大校(1)、山形大(1)、事務局(1)

地域活動 地域活動部会担当

1 学生活動に関する事業

(1) 地域づくりセミナー

- ・ 大学生が、地域活性化の可能性について実践的に学ぶセミナー

第1回：8 / 25 (火) ~ 27 (木) に実施 (参加者15名 / 学生6、教職員9)

(学生内訳 / 東北芸術工科大2、東北公益文科大4)

第2回：12 / 21 (月) に実施 (参加者8名 / 学生6、教職員2)

(学生内訳 / 東北芸術工科大2、東北公益文科大4)

第3回：3 / 5 (金) ~ 7 (日) に実施 (参加者13名 / 学生8、教職員5)

(学生内訳 / 東北芸術工科大5、東北公益文科大3)

(2) 学生交流・連携活動支援

- ・ コンソーシアム学生スタッフ（ゆうキャンパス学生組）による「やまがたを元気にしよう！」の企画実施を支援（学生の力によって、地域の賑わい創出や地域住民との交流活動を図り、地域活性化を図るため、学生が中心となり企画・実施する事業を支援）

①学生交流合宿

日 程： 6 / 13 (土)～14 (日) （1泊2日）

場 所： 山形市内、蔵王

参加者： 学生8名、教職員5名 （学生内訳／東北芸術工科大2，東北公益文科大5，放送大1）

内 容： 放送大学山形学習センター、山形大学、東北芸術工科大学を見学の後、蔵王温泉に移動して学生交流会。

②大学間の学生活動に対する支援

- ・ 学生間の交流を促進し地域活性化を図るため、2機関以上の学生が連携して行う事業で内容的に優れた活動を選定し支援。

- ・ 助成団体名：科学で山形盛り上げ隊(KYT)

科学のおもしろさを幅広く理解してもらうことを目的とし、簡単な実験の開催。また、幼児、児童向けに科学を扱ったCDを用いてダンスを披露。

山形大学生13名、山形短大学生6名

助成金 100,000円

- ・ 活動実績 第1回：2 / 7 (土) 10:00～15:00 ジャスコ山形南店
市民にダンス披露や実験講義を実施
- 第2回：2 / 21 (月) 10:00～15:00 霞城セントラル1階
市民にダンス披露や実験講義を実施
- 第3階：3 / 15 (月) 10:30～11:30 山形短大附属幼稚園
園児に簡単な実験等を実施

(3) 先進地調査

- ・ 地域活動に関する先進地調査

- ・ 調査先：新潟県越後妻有地域

9 / 12 (土)～13 (日) （1泊2日） 参加者／学生25，教職員2

（学生内訳／東北芸術工科大24，東北公益文科大1）

- ・ 大地の芸術祭「越後妻有アートトリエンナーレ」を見学し、人間と自然の関わり方の可能性を追求する越後妻有の地域づくりを学ぶ。

2 市民向けサービス提供に関する事業

(1) 理科離れ対策事業

- ・ 山形大学が（財）新技術振興渡辺記念会から受けた委託事業の一つ
- ・ 山形大学との共催として、小中高生とその保護者および市民を対象に、県内各地で「科学教室」等の開催

- ・ 親子で体験バイオロジー・7 8 / 2 (日)

対象：小学5・6年生、中学生、保護者 参加者19名

- ・ 望遠鏡を作って観る 9 / 26 (土)

対象：小学4年生～中学生、保護者 参加者 3名

- ・わくわく化学実験ランド 10 / 24 (土)
対象：小学4年生以上とその保護者 参加者11名
- ・マイナス200度の世界 3 / 13 (土)
対象：小学4年生～中学生、保護者 参加者49名
- ・どくとーるMINの実験教室 3 / 20 (土)
対象：小学3年生以上 参加者47名

図書館の連携 学術情報部会担当

1 学術情報発信・広報に関する協力

(1) 機関リポジトリによる学術情報発信事業

- ・コンソーシアムの各機関で生産される学術情報を一元的に蓄積し、山形の地から世界へ直接情報発信を行う地域リポジトリ（「学術成果発信システムやまがた」）構築事業

① 選択的ハーベスティングの本格始動

コンソーシアム参加機関のコンテンツ全てが山形大学のコンテンツとして登録されていたが、各機関のコンテンツとして登録できるように国立情報学研究所(NII)とも連携しシステムを変更。

② 紀要ブラウジング機能の追加

リポジトリへの登録時に、紀要の目次ページを手作業で作成していたために更新作業が繁雑で遅延気味だったことから、データ入力後に即時公開できるよう自動生成機能を追加。

③ 機関リポジトリ運用指針の全改正

各加盟機関及び山形大学双方の機関リポジトリの運用について、一元的に定めていた指針を学術情報部会及び山形大学においてそれぞれ定めるために全改正。

(2) 各機関発行の紀要等の電子化のサポート

- ① 国立情報学研究所等の補助金を確保して、紀要を発行している全ての機関の紀要の電子化・公開を継続し各機関の情報発信を進め、また、各機関の紀要以外の研究成果(博士論文等)の電子化。
- ② 機関リポジトリへのコンテンツ登録の促進を図るため、「ゆうキャンパスリポジトリ利用ガイド」を作成し各機関に配布。

(3) 各図書館の広報誌等の交換・設置

2 利用者サービスに関する協力

(1) 学生、教職員、市民に対するサービス面での協力

- ・コンソーシアム構成員に対する学習・教育用資源として、知識探索サイト「ジャパンナレッジ+N」のコンソーシアム導入を引き続き実施。

(2) 参加機関間デリバリーサービスの可能性の検討

- ・各機関のILL実績調査及び研修に関するアンケートを実施してその結果を踏まえ、ML(メーリングリスト)によるメール会議を開催し、デリバリーサービスの可能性について検討。
- ・デリバリーサービス先進地の視察。

(福井大学附属図書館、福井県立図書館) 3名(羽陽学園短大1, 山形大2)

- ・デリバリーサービスの可能性に関する考察の作成。

- ・ 山形県立図書館を訪問し、デリバリーサービスを含め県内高等教育機関の図書館と公立図書館のサービスの連携について意見交換。 2名(産技短大校1, 山形大1)

3 各大学図書館職員の連携

(1) 図書館職員向け研修会の実施

- ・ 図書館職員向け研修会 11/27(金) 参加者27名 (内2は県立図書館)
講師：文教大学越谷図書館 司書 藤倉恵一 氏
「利用者サービスの視点から個人情報保護について考える」

(2) 情報交換

- ・ 国立国会図書館遠隔研修情報、国立情報学研究所セルフラーニング教材、図書館総合展フォーラム、JKフレンドシップセミナー開催等に関する情報の提供。

教職員の交流・連携・・・・・・・・総務運営委員会担当

1 教職員交流・連携に関する事業

(1) 地域活動・学生活動に関するシンポジウム

- ・ 平成19年度から3年間にわたって実施した地域づくりセミナーの報告会の開催
3/6(土) 小国町 水源の郷交流館 (参加者48名)
講演会 「公益的な民の力」を活かした地域づくり
東北公益文科大学准教授 呉 尚浩 氏
学生発表 「小国マップの作製」報告
東北公益文科大学大学院生 林 久美子 他4名

(2) 教職員シンポジウムの開催

- ・ テーマ： ～山形発！魅力ある大学職員～
3/8(月) 山形大学事務局第1会議室及び各加盟機関のTV会議システムで視聴 (参加者76名)
講演「テーマ；職員の職能開発の現状と今後の方向性」
講師：立命館大学人事課課長補佐 辻井 英吾 氏
公立大学協会事務局長 中田 晃 氏
九州大学教育改革企画支援室准教授 田中 岳 氏
パネルディスカッション「テーマ：魅力ある大学職員」
パネリスト：講演者3名
東北芸術工科大学教学事務室 志賀 研吾 氏
東北公益文科大学地域共創センター 浦山 恭子 氏
山形大学教育企画ユニット 蜂屋 大八 氏

2 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムへの参加

- ・ 第6回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムに参加し、情報交換
開催日 9/12(土)～13(日)
場 所 北海道教育大学函館校
参加者 羽陽学園短大(1)、東北公益文科大(2)、産技短大校(1)、保健医療大(1)、米沢女子短大(1)、山形大(1)、事務局(1)

3 他コンソーシアムとの交流、訪問調査

- ・ 11月／立命館大学から訪問視察
- ・ 1月／北海道教育大学から訪問視察
／関西大学から訪問視察
- ・ 2月／鳥羽高等専門学校から訪問視察
／佐賀大学から訪問視察
- ・ 3月／新潟青陵大学から訪問視察

高大連携 総務運営委員会担当

1 高大連携に関する事業

(1) 高大連携フォーラムの開催 高等学校教員等対象

- ・ テーマ： ～ やまがた高大連携の課題と展望 ～
10／15(木) 山形市保健センター大会議室で開催 (参加者47名)
研究発表：山形工業高、小国高、酒田商業高、東北公益文科大、山形大、山形県
第一分科会：「大学へ入学前の教育」
第二分科会：「大学に望むこと」
第三分科会：「理科教育における高大連携」
各機関のパネル展示、意見交換

(2) やまがたサイエンスカフェ

- ・ 山形県の「やまがたサイエンスカフェ事業」と共同事業
- ・ 学生による実行委員会が、中・高校生等と科学者との語り合いの場を企画・運営し6回開催
第1回： 8／1(土)14:00-15:30 (山形市・山形大学) 東邦大学 吉祥瑞枝先生
「新しい時代のマリー・キュリー」 (14名)
第2回： 10／24(土)14:00-16:00 (鶴岡市・鶴岡高専) 山形大学 菅原 晃先生
「楽しく、不思議な化学の世界を旅して40年ーイオウの有効利用への挑戦ー」
(32名)
第3回： 10／25(日)13:30-15:00 (山形市・山形大学) 東京理科大学 中井 泉先生
「物質から過去を読むー考古学と科学捜査の接点ー」 (39名)
第4回： 11／18(水)16:00-17:30 (山形市・放送大学) 神戸大学 羅 志偉先生
「近未来ロボットへの夢」 (33名)
第5回： 12／20(日)13:30-15:00 (新庄市・交流センター) 海洋研究開発機構
坂本竜彦先生
「海の底のタイムマシンー海底堆積物から探る地球環境」 (11名)
第6回： 2／4(木)16:30-18:00 (米沢市・山形大学) 山形大学 井上健司先生
「生物とロボット」 (48名)

(3) 先進地視察調査

調査先：京都市・キャンパスプラザ京都

12／3(木)～5(土) 参加者5名

羽陽学園短大(1)、東北公益文科大(1)、産技短大校(2)、山形大(1)

広 報 ・ ・ ・ ・ ・ 総務運営委員会担当

1 広報に関する事業

- (1) 共同ホームページ管理・充実 ・ ・ ・ ・ ・ 管理運営、新着情報紹介等
 - ・ 各機関、各部会等でホームページ掲載内容を更新
 - ・ 各機関の公開講座、オープンキャンパス等の各種イベント情報の掲載
- (2) パンフレット類の作成
 - ・ 用途に応じたパンフ、リーフレット等の作成
- (3) 広報紙の発行 ・ ・ ・ ・ ・ 「ゆうキャンパスプレスNo.4」 (取組事業の紹介、報告、PR)
- (4) オープンキャンパス情報の発信
 - ・ 各機関のオープンキャンパス情報のチラシ・ポスターを作成し全高校に配付
- (5) 活動拠点充実 ・ ・ ・ ・ ・ 情報提供・広報コーナーの拡充
- (6) 広報用ボールペン、クリアファイル等の作成
 - ・ 各種事業参加者への配付用として、名入りのボールペンを作成
- (7) 活動報告書の作成

最上川学 ・ ・ ・ ・ ・ 最上川学プロジェクト推進委員会担当

1 最上川学教育プログラムに関する事業 (担当/山形大学)

- (1) 最上川学の構築
 - ・ 前期に「最上川の自然と文化」の1科目、後期に「最上川俯瞰講義」の1科目を開講
 - ・ 最上川学講座試行プログラムの実施
 - ①清川・立谷沢の舟運の歴史と川漁文化を訪ねて
6/20(土) 最上川学推進センター (学生参加者12名)
 - ②最上川支流小国川における川漁の知恵と技術から暮らしの文化を学ぶ
7/11(土)～12(日) 舟形町生涯学習センター (学生参加者16名)
 - ③離島の自然と文化から暮らしの知恵と技術を学ぶ
飛島の子どもたちと一緒に地元学実践活動
8/8(土)～10(月) 飛島小学校・法木集落 (学生参加者27名)
 - ④森と川と里の学習観察会
溪流の生き物観察と里山整備体験、杉林整備、庄内柿取り入れ準備をやってみよう
9/16(水)～18(金) 酒田市中野俣、外山キャンプ場 (学生参加者38名)
 - ⑤馬を軸にした里づくり活動
～最上町満沢の里の地域資源と新たな地域づくりを展望する～
11/14(土)～15(日) 最上町満沢地区 (学生参加者14名)
 - ⑥里山づくりと庄内柿
～伝承果樹と里山づくり、収穫の秋 庄内を体験する～
11/21(土)～23(月) 酒田市中野俣・松山 (学生参加者27名)
 - ⑦冬ごもりの里の地元学
冬の暮らしに向けた準備を進める里の知恵から学ぼう
11/28(土)～29(日) 尾花沢市中島地区 (学生参加者10名)

⑧川舟から最上川を学ぶ

最上川の伝統舟体験と河川づくりの今後を模索する

12 / 12 (土)～13 (日) 庄内町清川 (学生参加者4名)

⑨庄内伝統工芸の歴史と開墾の歴史

最上川下流域庄内平野と周辺山間地の知恵と技術をみつめる

1 / 9 (土)～11 (月) 鶴岡市関川・松ヶ岡 (学生参加者18名)

⑩雪の山村暮らしから流域文化を考える

田茂沢道草ぶんこうにおけるムラの創作活動に学ぼう！

2 / 6 (土)～7 (日) 金山町田茂沢 (学生参加者10名)

⑪庄内旧家の小正月行事から流域文化を学ぶ

酒田市田沢の旧阿部家の小正月

2 / 10 (水)～11 (木) 酒田市田沢・旧阿部家 (学生参加者12名)

(2) 最上川学推進センターの設置

- ・ 研究、調査、教育、地域連携の現地拠点となるセンターの設置 (旧清川小学校)
- ・ 最上川学推進センターを利用した宿泊体験型教育プロジェクトの試行

(3) 最上川学フォーラムの開催

- ・ 最上川学推進センターを拠点として自治体・住民・NPO団体・企業等と協働しながら最上川学講座を開講
- ・ 成果報告・総括として最上川学フォーラムを開催

①最上川学フォーラムⅠ ～流域からの学びから次世代への伝承に向けて～

6 / 20 (土)～21 (日) 最上川学推進センター

- ・ 地域見学会
- ・ 基調講演
- ・ パネルディスカッション

②最上川学フォーラムⅡ ～最上川流域の自然と暮らしを大学連携から考える～

2 / 27 (土)～28 (日) 最上川学推進センター

- ・ 活動報告
- ・ 鼎談
- ・ パネルディスカッション
- ・ 総括討議

- ・ 成果報告書の作成

(4) 「最上川学Net.」の充実

- ・ 6月より本格的に運用開始

(5) 先進地調査

- ・ 北海道視察 5 / 18 (月)～23 (土)
地域自然体験型授業等の調査
- ・ ドイツ視察 9 / 23 (水)～30 (水)
ライン川をテーマとした大学間、大学地域間連携活動調査
- ・ 鹿児島視察 12 / 15 (火)～18 (金)
大学・地域連携教育や環境プログラム調査

事業評価 事業評価委員会担当

1 事業評価に関する事業

(1) 事業評価の方法等の策定

- ・ 積極的な事業展開を図るための支援的評価として、評価方法、評価指数・項目の設定、評価結果の反映方法等を策定する仕組みを整備

(2) 事業評価の実施

- ・ 大学コンソーシアムやまがたが実施した事業の評価
 - ・ 第1回事業評価委員会開催 7/2(木)
 - ・ 加盟機関事業評価アンケート実施 8/6(木)～31(月)
 - ・ 大学コンソーシアム京都訪問調査 8/26(水)
 - ・ 加盟機関の長の見解に関するヒアリング実施 9/8(火)～18(金)
 - ・ 第2回事業評価委員会開催 10/19(月)
 - ・ 「大学コンソーシアムやまがたの事業評価報告書」完成 11/6(金)

(3) 事業計画策定WGの設置

- ・ 7/28幹事会決定による。
 - ①「第2期大学コンソーシアムやまがたの事業計画」の作成
 - ・ 事業評価委員会が行う自己点検評価の「報告書」を踏まえ、また、東北地区の大学コンソーシアムの調査を加味して、「第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画」を作成。
(計画期間を平成22年度から26年度までの5年間)
 - ・ 第1回事業計画策定WG(仮)開催 11/13(金)
「第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画(素案)」を作成
 - ・ 東北地区の大学コンソーシアムの視察調査 11/25(水)～27(金)
 - ・ 「第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画(素案)」を「大学コンソーシアムやまがたの事業評価報告書」と併せて加盟機関幹事会委員へ意見照会
11/26(木)～12/4(金)
 - ・ 第2回事業計画策定WG開催 12/11(金)
「第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画(案)」を作成
 - ・ 幹事会へ上程

研究環境整備・産学官連携 幹事会担当

1 研究環境整備・産学官連携に関する事業

(1) データベースの構築

- ・ 大学知財・産学官連携ガイドブックの作成

(2) 産学官連携・知的財産に関する相談室の設置

- ・ 知的財産等に関する認識の普及、産学官連携プラットフォーム構築等を目的としてコーディネータを配置した相談室の設置
- ・ 各加盟校において「産学官連携・知的財産関連相談会」の開催
 - ① 4/23(木) 羽陽学園短大
 - ② 5/27(水) 産技短大校庄内校
 - ③ 6/16(火) 産技短大校山形校
 - ④ 6/18(木) 農業大学校
 - ⑤ 7/7(火) 東北公益文科大
 - ⑥ 7/15(水) 鶴岡工業高専

- ⑦ 7 / 23 (木) 山形大(農)
- ⑧ 11 / 26 (木) 米沢女子短大
- ⑨ 2 / 17 (水) 保健医療大

(3) 産学官連携セミナー・交流会の開催

- ・ 共同研究対象の企業と大学の研究者のマッチングを図るため、交流会等の開催

①産学官連携交流会

10 / 9 (金) 東北芸術工科大

「これからの産業界に求められるサステナブルなモノづくり」

参加者 山形県内企業、各加盟機関の教職員、学生、大学院生

②知財サロン

1 / 12 (火) 山形大

「デジタル社会と著作権—著作権法と抵触しうる研究・教職活動について—」

参加者 各加盟機関の教職員、学生、大学院生

国際交流

..... 幹事会担当

1 国際交流に関する事業

(1) ガイドブック（各国語版）の作成

- ・ 外国人留学生、研究者に「大学コンソーシアムやまがた」及び「山形での生活」に関するガイドブックを作成し配付
- ・ ゆうキャンパスパンフレット(日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語)の作成

(2) 留学生と地域住民との交流行事の開催

- ・ エコツアーリズム体験 in 「水と緑と花の長井」!! の開催

8 / 20 (木)～21 (金) 1泊2日 長井市

参加者 48名 (外国人留学生(24)、地域住民等(13)、その他(11))

(3) 米国コロラド州及びアジア地域との学術交流、教職員交流

- ・ 米国コロラド州における職員交流プログラム

11 / 15 (日)～22 (日) 米国コロラド州デンバー市及びボルダー市

参加者 3名 (鶴岡高専(1)、山形大(1)、事務局(1))

- ・ タイの大学との連携調査の実施及び留学フェア参加

11 / 25 (水)～30 (月) タイ国チェンマイ市及びバンコク市

参加者 2名 (事務局(2))

- ・ ベトナムの大学等高等機関に関する調査・情報収集の実施

3 / 15 (月)～21 (日) ベトナム国ハノイ市及びホーチミン市

参加者 2名 (山形大(1)、事務局(1))

(4) ホームステイネットワークの設置

- ・ 短期ホームステイプログラムの実施(外国人留学生)

2 / 12 (金)～14 (日) 2泊3日 参加者 16名 (山形大16)

村山地区の各家庭 ホストファミリー14家庭

3 / 12 (金)～14 (日) 2泊3日 参加者 7名 (鶴岡高専2、山形大5)

庄内地区の各家庭 ホストファミリー7家庭

財団からの委託事業 各部会等が分担して担当

- ・ 山形大学が（財）新技術振興渡辺記念会から受けた委託事業について、その事業の検討・企画及び実施。

1 事務局組織の強化 （事務局担当／山形大）

- ・ 加盟校の事務組織との新たな連携を検討し、より高度なコンソーシアム運営が可能となる事務組織を目指す。

2 国内の高等教育連合組織の調査 （各部会等ごと、全機関）

- ・ 国内の他の高等教育機関連合組織について、実施事業や運営方法等を調査し、今後の実施事業や運営上の参考にする。

3 連携型教育の推進 （教育連携部会、主担当／山形大）

- ・ 単位互換利用の促進のため、eラーニング化実習の実施、eラーニング科目授業のアシスタント支援、資格課程科目を単位互換とするための調査・調整等の事業を推進する。

4 山形版エラスムス計画の検討 （総務運営委員会、事務局担当／山形大学）

- ・ EU加盟国間において、加盟国間の結合を促進するための人材交流計画の一環として、大学間交流の促進を目指した学生交流、学部・大学院対象のカリキュラム開発等が行われている。
- ・ こうした先進事例をモデルとして、県内で展開している学生交流、教員交流などの大学間交流のあるべき姿を検証し、共同カリキュラムあるいは学部・大学院の設置の可能性などの連携方策を検討する。
- ・ 各機関の研究施設の共同利用の可能性を検討する。
- ・ 学生および教職員の相互交流についての方策を検討する。
- ・ 学生への奨学金・助成金について検討する。

5 理科離れ対策事業の実施 （県、理工系の各機関）

- ・ 小中学生、高校生、教員、社会人を対象としたそれぞれのプログラムを検討。
- ・ 山形大学 SCITA センター（サイエンス・ラボ）を拠点として、県内各地で科学教室等を開催。

※ 次の事業に係る経費は、コンソーシアムの収支とは別会計となるものである。

- ① やまがたサイエンスカフェ事業
- ② 戦略的大学連携支援事業